

## 夏休みの自由研究に役立つ「夏休み親子おくすり教室」

くすりの町・<sup>どしょうまち</sup>道修町で、無料イベント開催

すくなひこな  
～230年続く少彦名神社、薬問屋や製薬企業の集う「くすりの町」で体験学習～

治験(臨床試験)支援機関のインクロム株式会社(所在地:大阪府吹田市 代表取締役:金田仁二郎)は、少彦名神社、大阪家庭薬協会(ともに大阪市中央区)との共催で、小学校高学年を対象にした「夏休み親子おくすり教室」を8月22日(土)に開催いたします。当イベントは、昨年初の試みとして開催し、参加した親子に好評を得たことから、2年目の開催に至りました。

今年は「目の健康」をテーマにすえ、座学では目薬の正しい使い方などを、体験学習では同じく“目に良い”働きをもつ食材を自分達で組み合わせる「オリジナル薬膳ドリンクづくり体験」を、さらに保護者には「大人の薬膳セミナー&夏休みの自由研究の秘訣」講座を用意します。自由研究のヒントや親子の夏の思い出づくりの場を提供し、地域子ども達に、大阪の歴史と産業「くすりの町・道修町」と、健康を守る医薬品を身近に感じてもらうことが狙いです。

## ■子ども達に薬の正しい知識を

親子で学ぶ座学のテーマは「目の健康について」です。夏の紫外線、ゲームやスマホ、学校や塾の宿題など、子供でも目を酷使しがちな昨今、薬の基礎知識や添付文章の読解法、目薬の正しいさし方などを楽しくわかりやすく解説します。

講師は、ロート製薬株式会社(大阪家庭薬協会所属)の薬剤師資格を持つ社員です。同社は、次世代を担う子ども達に薬の正しい知識を身につけてもらうための「薬育」活動を行っています。

## ■薬膳食材を学んでオリジナル薬膳ドリンクに挑戦

「薬膳ドリンクづくり体験」では、座学同様の“目に良い”、さらに季節柄“夏バテ予防”の働きを持つ野菜・果物について学んだ上で、グループごとにオリジナルドリンクづくりに挑戦してもらいます。食効・味・飲みやすさなど工夫して食材を組み合わせることで、自宅で“研究”ができる仕掛けです。講師は生姜博士としてTV番組でも紹介された大阪家庭薬協会 顧問の田部昌弘氏です。

## ■夏休み親子おくすり教室 概要

日 時: 2015年8月22日(土) 13:30~16:30(受付開始 13:15)

対 象: 小学5・6年生とその保護者

参加費: 無料 ※要事前予約

申 込: 2015年7月23日(木)~8月20日(木)

[電話] 0120-72-8343(インクロム ボランティアセンター 9:00~17:00 土日可)

[web] www.incrom.com

場 所: 少彦名神社(大阪市中央区道修町2丁目1-8)

主 催: 少彦名神社、大阪家庭薬協会、治験のインクロム

くすりの町・道修町で体験学習  
**夏休み親子おくすり教室**

講師: 田部昌弘(治験のインクロム株式会社)、田部昌弘(薬膳博士・大阪家庭薬協会 顧問)

**参加費 無料**  
(事前申込制)

【日時】2015年8月22日(土)  
(受付13:15) 13:30~16:30

【対象】小学5・6年生と保護者  
※お子様のみでの参加はご遠慮願います。

オリジナル薬膳ドリンクづくり体験  
親子で学ぶ「目の健康について」  
大人の薬膳セミナー&夏休み自由研究の秘訣

【場所】少彦名神社  
大阪市中央区道修町2丁目1-8

【事前申込制】【受付期間】2015年7月23日(木)~8月20日(木)  
インクロム [www.incrom.com](http://www.incrom.com) ☎0120-72-8343 受付時間 9:00~17:00  
[おくすり教室へのお問い合わせ] インクロム株式会社 広報課 TEL: 06-6192-0002

主催: 少彦名神社・大阪家庭薬協会・治験のインクロム

## 本件に関する問い合わせ:

インクロム株式会社

広報部 <sup>さんの</sup>三野

携帯: 090-4649-1652

[大阪事業所] 大阪府吹田市春日 4-12-11  
千里サンプラザ新館 〒565-0853  
TEL: 06-6192-0002  
e-mail: bridging-japan@incrom.com  
Web サイト: www.incrom.com

[参考資料 1]

## ■当日のタイムテーブル

- 13:15～13:30 受付  
13:30～14:15 [座学]目の健康について  
14:15～14:40 神社境内へ移動後、神農さま<sup>※1</sup>と記念撮影  
(撮影後)休憩  
14:40～15:40 [体験学習]薬膳ドリンクづくり<sup>※2</sup>  
[座学]大人の薬膳&夏休み自由研究の秘訣<sup>※3</sup>  
15:40～16:00 ティーブレイク<sup>※4</sup>  
16:00～16:30 修了証書授与式<sup>※5</sup>

※1: インクロムのキャラクター「神農さま」は、少彦名神社公認です。

※2: 子ども達だけ別室へ移動して、薬膳ドリンクづくりを行います。

※3: 子ども達がドリンクづくりを体験中、保護者対象の座学を用意します。

※4: 成人女性に多い、冷え症を解消する「生姜紅茶」をご用意します。

使われる乾燥生姜と生の生姜の効能の違いについても保護者対象の座学「大人の薬膳」で解説があります。

※5: 子ども達が座学の会場へ戻り、修了証書授与式を行います。

修了証書とともに記念写真を、神農さま・宮司・講師が授与します。終了後も、希望者はロビーにて神農さまとのふれあいタイムや神社社務所ビル内の「くすりの道修町資料館」をご見学いただけます。

## ■2014年の同イベントの様子



### ■健康の神、薬の神を祀る「少彦名神社」と「くすりの町・道修町」

少彦名神社のある大阪市中央区の道修町は、くすりの町として知られています。知られるようになったのは、江戸時代8代将軍徳川吉宗の時代である享保7年(1722)に幕府によって認められ、所薬種を吟味(検査)して適正価格をつけ独占的に全国へ供給するようになって以降のことです。

道修町を含む北船場地区の歴史は豊臣時代までさかのぼり、長崎からの輸入品を扱う貿易商の町で、中国から輸入される唐薬種を扱う堺の商人が、寛永年間(1624~1645)に道修町で薬種屋を開いたことから始まると言われています。

道修町の薬種商の家では、中国の薬の神様である神農氏の掛け軸を拝むようになり、安永5年(1780)に道修町の薬種中買仲間による伊勢講が結成され、日本の薬の神様である少彦名命の分霊を勧請し、神農氏とともに祀られるようになったのが、少彦名神社です。少彦名神社は、“神農さん”の愛称で親しまれています。



### ■大阪家庭薬協会 概要

大阪家庭薬協会は、昭和20年に大阪府内に本社または工場等の営業拠点を持つ家庭薬メーカー34社の親睦団体として創立されました。設立当初は「大阪府家庭薬組合」と称し、その後、昭和25年2月に「大阪家庭薬協会」と名称が変更され今日に至っています。今では大阪府内だけでなく関西近辺、東京、名古屋、九州に本社がある家庭薬メーカーも加盟し、事業内容も親睦団体から共同研究をする団体として活動しています。総会員社数は49社です。

### ■インクロム 会社概要

インクロムはSMO(治験施設支援機関)として医療機関と契約し、煩雑な治験業務のサポートを行っています。治験を担当するスタッフを医療機関に派遣、治験ボランティア募集業務やボランティアパネルの管理など、治験を円滑に進めるためのサポート体制を整えている点が特長です。これまでに当社が関わった試験数は国内だけで約1,700試験を誇ります。

当社が支援する提携医療機関の中核となっているのが、医療法人平心会 大阪治験病院です。大阪治験病院は、2005年11月に開設された、日本で初めて生まれた治験に特化した病院です。

社名	インクロム株式会社
代表取締役	金田仁二郎
所在地	[大阪事業所] 〒565-0853 大阪府吹田市春日4-12-11 千里サンプラザ新館
資本金	4000万円
社員数	グループ総数361名(2014年12月1日現在)
創業	1975年
事業内容	治験実施支援
主要提携医療機関	医療法人平心会(大阪治験病院/OCROMクリニック/ToCROMクリニック)

### ■治験とは

厚生労働省は、新しい薬の使用を許可するとき、その薬の安全性と有効性(薬効)を裏づける、種々の資料の提出を義務付けています。それらの資料には、動物から情報を得るための試験である「非臨床試験」やヒトから情報を得るための試験である「臨床試験」の情報が含まれています。この「治療薬を開発して、厚生労働省の承認を得るために行なう臨床試験」のことを“治験”と呼びます。治験の資料がなくては、どんなに優れた効き目を持つ薬も許可されない、医薬品開発に不可欠なプロセスです。

### ■SMOとは(日本SMO協会 webサイトより抜粋)

SMO(Site Management Organization: 治験施設支援機関)は治験実施施設(医療機関)と契約しGCPに基づき適正で円滑な治験が実施できるよう、医療機関において煩雑な治験業務を支援する組織です。治験に関わる医師や看護婦、事務局の業務を支援することにより、スタッフの負担を軽減し、治験の品質・スピード向上を支援します。